

1 学校教育目標

校訓「素直な子」「進んで学ぶ子」「やりぬく子」

・希望をもって挑戦し続け、自ら学ぶ子 ・全教職員で全校児童を大切に育て、「生きぬく力」を育む。

2 学校経営方針（中期目標）

- (1) 互いを認め合い、温かな人間関係と豊かな心を育む。【素直な子】
- (2) わかる楽しさ・できる喜びを感じ、自ら学び続ける姿勢を育む。【進んで学ぶ】
- (3) 生涯を通じて、たくましく生きるための心と体を鍛える。【やりぬく子】
- (4) 信頼される教職員集団をめざし、家庭・地域と連携した教育を推進する。

3 重点努力目標（短期目標）

- (1) 互いを認め合い、温かな人間関係と豊かな心を育む。

評価項目	重点努力目標
一人一人を大切に した学級・学校 づくり	・学級経営、学校行事等に心を耕す方策を取り入れるとともに、温かなつながりを基盤にした安心できる集団づくりに取り組む。
互いを認め合う心 の育成	・道徳教育の充実を図り、自分らしさを実感し、それらを共有・共感できる支援を工夫する。 ・子どもの特性に応じた支援を見直し、子どものありのままを受け入れる多様性を大切にされた支援を実践する。

- (2) わかる楽しさ・できる喜びを感じ、自ら学び続ける姿勢を育む。

評価項目	重点努力目標
基礎基本の習得	・「本時の目標」を明確にして、支援を工夫する。 ・「振り返り」を大切に、自己の変容を自覚できるようにする。 ・学びのプロセスを重視するとともに、伝える力・発信する力を高める実践に取り組む。
「わかる楽しさ」 「できる喜び」を 生む授業	・子どもの思いや願いをとらえた問題解決的な学習を構想し、子ども主体の授業を実践する。 ・ひとり学び（ひとり調べ）と話し合い（対話）を効果的に位置づける。 ・体験・本物を重視した学びと人とのつながりを重視した学びを図る。 ・学びのつながりを意識した実践を進める。
学びに向かう力の 育成	・「振り返り」等から子どもの意識・理解をとらえ、次の支援につなげる。 ・家庭学習のあり方をさらに見直し、自主的な家庭学習の姿勢と習慣を支える。

- (3) 生涯を通じて、たくましく生きるための心と体を鍛える。

評価項目	重点努力目標
生活習慣の確立	・「早寝・早起き・朝ごはん」を基本に、よりよい生活習慣の定着を図る。 ・メディアコントロールを働きかける。
体力の向上	・体育の授業の取り組みのほか、マラソンチャレンジ、なわとび週間など、組織的・計画的に体力向上を図る。
安全教育の推進	・安全に関する生活目標の提示や授業等の取り組みによって、安全意識と実践力を図る。

- (4) 信頼される教職員集団をめざし、家庭・地域と連携した教育を推進する。

評価項目	重点努力目標
教職員としての 誇りと自覚	・教職員の自覚と力量、組織力を高めるため、研修体制とその充実を図る。 ・報告・連絡・相談の徹底を図り、風通しのよい環境づくりと信頼される教職員集団をめざす。 ・在校時間の上限を遵守するとともに、それぞれのステージの働き方のモデルとなるよう一人一人の意識改革を進める。
家庭・地域との 連携	・学年・学校通信やホームページ等を通して、積極的に学校の教育方針や教育活動を発信する。 ・コミュニティスクールの組織づくりを進め、地域とともに学校運営に取り組む体制を整える。 ・家庭や地域の声を積極的に生かし、一体となって教育活動を推進する。